

Nicola Black (ニコラ・ブラック) さんのこと (子どもたちへのおたよりから)

悲しいお知らせです。

キルクハニティで歌を教えてくれたニコラさんが、先週の土曜日に亡くなりました。突然のことで、周りの方々は大きなショックを受けています。長らく闘病していましたが、最近は調子がよかったようで、積極的に歌のレッスンやライブ活動をされていました。3週間前には、きのくにの高校3年生がいっしょに歌ったり笑ったりする姿を見ていたので、まだ信じられないです。

丸山晶子 (きのくに国際高等専修学校の大人)

キルクハニティ子どもの村に滞在した小学生たちは、毎年、ニコラさんと夫のブラッキーさんから歌を習います。地元につながる歌や英語だけでなく、ゲール語の歌なども紹介してくださりました。透明なギターの音色とともに、澄んだニコラさんの歌声、子どもたちのあどけない声が、石造りのキルクハニティの本館にこだましていました。

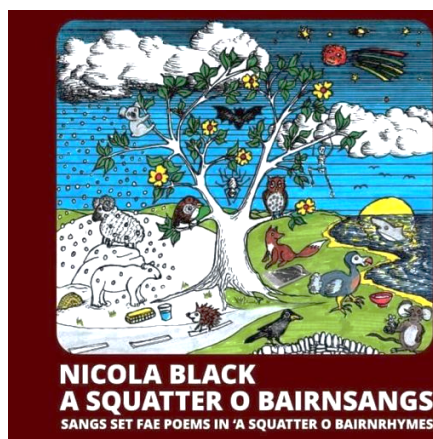


ニコラさんはキルクハニティの近くの村、KPD (キルクパトリックダーラム) に住むシンガーソングライターです。スコットランド南部で活躍した詩人ロバート・バーンズの詩をアコースティックギターに乗せて歌うなど、意欲的にスコットランドの歌や文学を広める活動をしていらっしゃいました。英語ではなくゲール語で歌う歌手としても活躍されていました。

ニコラさんは子どもたちに会うのを心から喜んでいました。寂しくなりますが、いっしょに歌を歌った子どもたちだけでなく、学校のみなさんにも知っていただきたくお伝えいたします。

先週、ちょうど学校にニコラさんの新しいCD「A SQUATTER O BAIRNSANGS」がとどいたばかりでした。ご冥福をお祈りします。

(加藤 博：南アルプス子どもの村)



※ bairnはゲール語で「子ども」という意味